



ご挨拶

今年は記録的な暖冬になり、1月はほとんど雪が降りませんでした。山も雪が少なく、スキー場も困っていたところ、やっと今月になって待望の雪が積りました。積雪が多いと、交通に支障が出たり困ることもありますが、やっぱり但馬の冬は雪が無いと物足りなく感じます。一面真っ白な雪原を見ると、そこに春の希望を描くことができます。今年の春は早く来そうです。春になると忙しくなるので、今のうちにゆっくり雪を楽しみたいと思います。

【2月の公民館事業、「野生動物の足跡さがし」】

シカやイノシシなどの野生動物は、昼間はあまり姿を見かけません。しかし、夜になると彼らは人間の生活するすぐ近くに出てきて、田畑の野菜をかじったり、最近では庭先の植木を食べたりしています。その痕跡は、足跡であったり、食べた跡であったり、糞など、それを探索することで夜の動物の行動を推測することができます。

2月16日(日)、久斗山公民館の行事「子ども自然教室 野生動物の足跡さがし」が開催されました。参加者は子ども7名、大人11名、合計18名。ドイツから池ヶ平の安泰寺に来てる男性や、浜坂町内からの参加もありました。

雪の上の動物の足跡をイメージしていたんですが、残念ながら雪は無し。最初に写真や、タヌキやキツネ、イノシシやシカの足跡のシートで予習をして、野外観察に出発しました。アーモンドチョコのようなシカの糞が民家のすぐ近くにあたり庭木を食べていたり、大杉神社にはいくつも獣道がありました。イノシシが通った道には糞があり、その臭いは強烈でした。田んぼでヤマアカガエルが産卵しており、生みたての卵塊を観察したり、害獣駆除の囲い罫も見に行きました。

お昼はおにぎりに十六(シシ)汁とイノシシやシカ肉のジビエ焼肉、さらに安泰寺さんから差し入れしてもらったドイツ風のアップルパイのデザートでした。最後は公民館長の家の畑で大根や白菜を収穫してお土産にしました。雪が無くて物足りなかったけど、野生動物が夜に出てきてちょっと困っていることを実感してもらえたと思います。

お昼はシカ、シシ肉の焼肉です



雪は無いけど動物の足跡さがしに出発



ヤマアカガエルの生みたての卵塊を観察



野菜も収穫しました

【浜坂東小学校でモンゴルの馬頭琴演奏会】

めったに聴く機会のないモンゴルの民族楽器 馬頭琴(モンゴル語でモリノール)の演奏会が2月17日、午後1時15分より、浜坂東小学校内の大広間で開催され、東小学校の全校生と一般からも大人15人が参加して、その演奏に聴き入りました。

久谷の岡坂さんと久斗公民館のお世話で、今は大阪在住の劉偉さんと海峰さんのお二人が白いモンゴルの民族衣装で登場されました。校長先生の挨拶のあと、まずは中国大陸にある草原の国、内モンゴル自治区の場所や風俗、文化などについてお話しがあり、その後で馬頭琴の演奏や、ホーミーという独特の歌唱方法による曲が披露されました。演奏の後で、モンゴル語についてこんにちは(センバイノ)やさようなら(バイルティ)、ありがとう(バイラ)などを教えてもらい、羊の骨製のモンゴルのおはじきでゲームもしました。

短い時間でしたが、馬頭琴とホーミーの歌声は独特の哀愁があり、心に沁みわたる音色でした。夏のモンゴルの大草原に行ってみたくくなりました。

なお、モリノールはモンゴル語で「馬の楽器」という意味で、楽器の棹の部分に馬の頭の形をしており、四角い共鳴箱と、東になった2本の弦が張ってあり、今はナイロンですが昔は馬の尻尾の毛を使っていたそうです。バイオリンのように弓で弾いて音をだします。「スーホの白い馬」に出てくる楽器です。



海峰さんの馬頭琴の演奏



最後に六年の谷口さんがお礼を述べた

【久斗山農産加工組合 「かきもち」 生産中】



子供の頃から田舎のオヤツだった「かきもち」の生産が、久斗山農産加工組合で今、最盛期となっています。短冊状に切ったお餅を、2枚一組10個を藁で連ねたものを、竹の竿にかけて乾燥します。味は、豆や栃など、6種類があるそうです。火にあぶってカリッと焼いたおかきは香ばしく、また油で揚げると大きく膨らんで食べごたえがあります。これから春までに2,000連近く生産するとか…ただ、今年は暖冬で、乾燥に時間がかかるそうです。寒干しは、やっぱり寒くなくては…

【歴史と文化について学ぶ！「新温泉町歴史講演会」】

8日（土）午後1時半より
諸寄基幹集落センターで、諸寄の歴史と文化を語る会の講演会がありました。京都橘大学文学部の村上裕道教授による「日本遺産をまちづくりに活かす」と題した講演があり、会場の集会室は満員になる大盛況でした。



今、諸寄は北前船の寄港地・船主集落として注目されており、今年、日本遺産として認定されました。遺産として保護・保全も大切ですが、町の活性につなげることも重要となってきます。

【よろしくお願ひします！山陰海岸ジオパークコーディネーター】

山陰海岸ジオパークは平成22年世界認定されました。京都府京丹後市から鳥取県青谷まで東西120km南北30kmと広く、久斗山もエリアに含まれます。これまでガイドとして、山や滝のご案内をしてきましたが、この度もう一つ上のコーディネーターに認証していただきました。今後、更に精進してジオパークの推進に尽力したいと思います。



○令和2年 3月の行事

- 3日（火） ひな祭り
- 8日（日） 上山高原の自然研修会(13:30～16:00) 上山高原ふるさと館
- 19日（木） 新温泉町立小学校 卒業式
- 20日（金） 子ども自然教室「春の食べれる野草さがし」(10:00～13:00) 久斗山地区公民館
- 22日（日） 久斗山 境 村総会
- 26日（木） 認定こども園 卒園式



うわのふれあいの森倶楽部

「春を待っている山の生物を探ろう」

◎開催日：令和2年3月4日（水）
13:00～16:00
○集合：木の殿堂受付前（現地集合・解散）
○料金：500円（スノーシュー貸出あり・有料）
【内容】
雪が残る兎和野の森をスノーシューで歩きながら、厳しい冬を耐えた生き物たちの春を待ちわびる姿を観察します。
山歩きのできる服装、おやつ、飲物
【問い合わせ・申込み】
兵庫県 木の殿堂
0796-96-1388
メール：kinodendo@gmail.com



落葉の下から芽を出し、
花を咲かせたセリバオウレン

今月の野草
セリバオウレン

早春の、雪が解けたばかりの里山の雑木林、日当たりのいい場所の林床をよく見ると、落葉の下から伸びた柄の先に白い花火のような小さな花を見つけることができます。葉っぱが芹の葉に似てる黄連の仲間です。根茎に薬用成分があり、乾燥したものが漢方薬になります。健胃薬、腹痛や腹下りを止めるお腹の薬です。子どもが頃、煎じたものを飲んだことがありますが、苦いよ。

かってに昔話

池ヶ平の大蛇（第二話）

作、いっこう

直は最近、ちよつと落ち着きません。その原因は、さやの様子は今までと違うからです。直を慕うさやは、いつも直の方を見ていて、目が合うとにっこり微笑んでくれました。それが、近ごろは時々どこを見ているのか、ぼくとしたように上の空になるのです。そして、池に洗い物や水を汲みに行く、長い時間帰ってこないのです。

「さや、おまえ、この頃どないしたんや。俺はずつとさやのことを思っているけど、さやは何を考えてるかわからへん」

直は思い切つてさやに問うてみました。

「私も直のこと、今までとかわらん、ずつと思つてるよ」

さやは口ではそう答えましたが、どうも気持ちが籠つてない、素っ気なさを感じられました。

ある日、さやが池に洗い物に行くのを見計らいた、直はそつとさやの後をつきました。池の近くの石楠花の藪からさやの様子を見てみると、池のそばに着いたさやは、誰かを待っているようなそぶり、落ち着きません。しばらくすると、さやの後方から、立派な身振りのすらりとした色白の若い男が現れ、さやに声をかけたのです。振り向いたさやの表情は、これまで見たことがない喜色が溢れていました。それから二人は、池のそばの倒木にたがって腰をおろしました。二人から離れているので、直にはよく聞こえませんが、男はさやに何やら話しかけ、さやはそれに嬉しそうに答えるのでした。まるでその姿は、好き合っている男女に見えました。

（つづく）